

◆ スタッフ

センター長 戸田山 和久

専門領域：科学技術社会論
電 話：052-789-5694, 4874
メー ル：todayama@cshe.nagoya-u.ac.jp

教授 夏目 達也

専門領域：高等教育学、技術・職業教育論
電 話：052-789-5693
メー ル：natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp

准教授 近田 政博

専門領域：比較高等教育学、初年次教育
電 話：052-789-5692
メー ル：chikada@cshe.nagoya-u.ac.jp

准教授 中井 俊樹

専門領域：大学教授法、高等教育マネジメント
電 話：052-789-5385
メー ル：nakai@cshe.nagoya-u.ac.jp

助教 齋藤 芳子

専門領域：科学技術政策、科学技術社会論
電 話：052-789-5384
メー ル：saitoh@cshe.nagoya-u.ac.jp

客員准教授 マリアヌヌ・メルクト (独・ハンブルク大学)
2007年 8月～2007年10月

客員教授 ブルース・マクファーレン (英・テムズバレー大学)
2008年1月～2008年3月

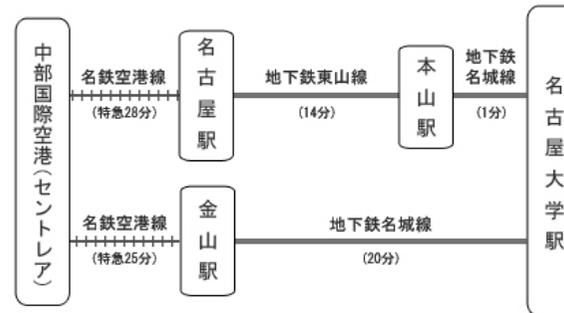
客員教授 川嶋太津夫 (神戸大学)

客員教授 吉良 直 (日本教育大学院)

客員教授 本間 政雄 (立命館大学)

名古屋大学 高等教育研究センター

Center for the Studies of Higher Education, Nagoya University



地下鉄名城線「名古屋大学」駅1番出口徒歩1分
名古屋大学東山キャンパス 文系総合館5階

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

電話 052-789-5696

ファックス052-789-5695

<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/>

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学 高等教育研究センター

2007-2008

CENTER FOR THE
STUDIES OF
HIGHER
EDUCATION

NAGOYA UNIVERSITY



本センターは「国際的な視野のもとに高等教育機関の戦略的課題の解決に貢献する」をミッションとして、1998年4月に設置されました。

高等教育に関する専門的・実践的研究をもとに、

- ◇ 各種資料刊行・ツール開発等による教育改善支援
- ◇ 名古屋大学における教育の企画・立案への支援
- ◇ 世界的文脈からの大学改革に資する知見の提供

などを行っています。これらにより、高等教育機関の質の向上に取り組み、高等教育研究の一大拠点となることを目指しています。

◆ 研究領域

教授法開発と授業支援

FD（ファカルティディベロップメント）プログラム開発

初年次教育・学習支援

大学院教育・大学院学生支援

◆ 教育改善支援の活動

学内をはじめとする大学教育の質の向上を目指して、各種活動を行っています。

学内の教育改善支援

学内教育の企画立案評価等の支援

各種セミナー・講演会の実施

出版物やウェブによる研究成果・情報の発信

本学教員に対する授業の悩み相談、メンター紹介

授業見学会、シラバス博覧会の実施

◆ 定期刊行物

『名古屋高等教育研究』

世界のスタンダードを意識しながら名古屋大学コミュニティに貢献する方針を掲げた年刊学術誌です（査読付）。

『かわらばん』

年4回発行する新聞形式のニュースレター。大学教育に関するオピニオン、最新情報などを掲載しています。名古屋

『FRIENDS』

年1回発行するメール形式の英語版ニュースレターです。

◆ 進行中の研究開発プロジェクト（H19年度）

教員の自発的な授業改善の促進・支援

本取組は、教員の自発的な授業改善の促進・支援を目的に、授業改善の方法論を開発し、その具体的な実践手段を個々の教員に提供するものです。

○ 教授法開発・授業支援

大学教授法研究に基づき、教育効果の高い教授法と授業支援の方法を開発しています。学内外における優れた事例の調査を通じて収集した教育実践例をデータベース化し、それらを整理し簡潔な表現にまとめて教育現場に還元しています。

○ FDプログラム開発

授業改善に必要な基礎的な知識・ノウハウを無理なく学べるFDプログラムを開発しています。シラバス設計法、成績評価の方法、大学教授法の基礎などのプログラムを開発し、新任教員や各部局のFDに適用しています。

○ 初年次教育・学習支援

『名古屋大学新入生のためのスタディティップス』を開発し、新入生全員に配布しています。本冊子の感想・改善点に関するアンケートをもとに改訂もを行っています。

○ 大学院学生の支援プログラム開発

学生が大学院で身につけた知識や能力を社会に生かすことが求められています。将来大学教員として求められる知識・技能、専門家としてのコミュニケーション能力等を大学院で獲得するための各種支援プログラムの開発を進めており、すでに大学教員準備プログラムを実施しています。

特色
G
P

本センターを中心に進めてきた全学的取組「教員の自発的な授業改善の促進・支援-授業支援ツールを活用した授業デザイン力の形成」が、平成16年度に文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム（特色GP）」に採択されています。

◆ これまでの主な成果

成果物は当センターのWEBサイトにてご覧いただけます。

『成長するティップス先生』

本センターが開発したティーチングティップス（授業の秘訣集）です。本学の教師が日常の教育活動の中で出会う悩みの解決をサポートすべく、当センターではティップスの開発に力を注いできました。オンライン版と書籍版があります。

『ティップス先生からの7つの提案』

名古屋大学の学生・教員・大学組織がよりよい教育を実現するための提案と具体的なアイデアをまとめました。これまで教員編、大学編、学生編、IT活用授業編の4冊子を開発しています。手軽な冊子なのでFD教材として利用されています。

『ティップス先生のカリキュラムデザイン』

大学のカリキュラム開発がスムーズに展開されるよう、主要な論点を整理し、具体的な検討の視点や方法を提供しました。学部・学科のカリキュラム開発・改訂のプロジェクトにお役立てください。

『名古屋大学新入生のためのスタディティップス』

新入生のための学びのノウハウ集です。第1号「『学識ある市民』をめざして」では大学で学ぶことの意味を説明し、第2号「自発的に学ぼう」では具体的な学習方法を紹介しました。教員や先輩学生からのアドバイスも随所に盛り込みました。

『特色GPシリーズ』

特色GP「教員の自発的な授業改善の促進・支援」プロジェクトの報告書です。これまでに次の4冊子を刊行しています。

- ① 実践的教授法の開発を目指して
- ② 第1回ランチタイムFDの記録
- ③ 『ティップス先生からの7つの提案』の開発
- ④ 大学院生のための大学教員準備プログラムの開発

『外部評価報告書』

センター創設から平成13年度までの活動のレビューです。